



登別市



と デンマーク王国

これまでのあゆみ

との交流を行う

1992. 8

中学生海外派遣事業開始(中学生7人を派遣)



▲これまで、延べ160人以上の中学生がデンマーク王国でかけがえのない時間を過ごした(写真は平成29年度の様子)



▲登別マリンパークニクス内にある「ニクス城」のモデルとなったファボー・ミッドフュン市の「イーエスコー城」

1990. 7

登別マリンパークニクス開園



登別の地で世界にふれる

～デンマーク王国とのつながり～

平成29年12月に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるデンマーク王国のホストタウンとして登録された登別市。

市は、『国際観光レクリエーション都市』として、これまで国際交流団体をはじめとした市民の皆さんと共に、さまざまな国の人々との交流に積極的に取り組んできました。

今号では、ホストタウンの相手国であるデンマーク王国と登別市とのこれまでのつながりを中心に国際交流の取り組みを紹介します。

▶問い合わせ 企画調整グループ(☎01122)

世界の人が集うまち

国内のみならず、海外からも多くの観光客が訪れる登別市には、平成28年度の1年間で47万9千856人の外国人観光客が宿泊しています。

近年は、特に台湾や韓国、中国に加え、欧米諸国からの観光客も増加しており、登別温泉街などを散策すると、さまざまな言語が飛び交っている風景にたくさん出会います。

市は、世界各国の人々が訪れるまちづくりを目指して、昭和61年に『国際観光レクリエーション都市宣言』を行い、観光資源を生かした受入施設の整備に加えて、海外の都市と友好都市協定を結び、相互交流を図るなど、さまざまな取り組みを実施しています。

友好都市



ファボー・ミッドフュン市(デンマーク王国)

登別マリンパークニクスが開園して以来、お互いの市民が訪問する交流が行われていたデンマーク王国のリンゲ市とウイスリンゲ市、登別市は平成9年、



サイパン市(アメリカ合衆国自治領)

歴史的・人的に結びつきの強い登別市との交流を望んでいたサイパン市と平成18年に『友好都市協定』を締結し、サイパン市の中学生などを複数回受け入れ、市民の皆さんの家庭でのホームステイや市内中学校での交流などを通じて、他国の文化に直接ふれる機会をもっています。

国際理解講座

多くの方に国際理解を深めてもらうため、年に5回程度、地域に住む外国人の方や日本人で海外を拠点に活動していた方などを講師として、世界各国の文化や風土、歴史などを学ぶための講座を開催しています。

平成12年、当時の登別観光協会(現・登別国際観光コンベンション協会)が廣州市を訪れ、観光客誘致プロモーション活動を行ったことをきっかけに、観光分野において双方の交流が積極的に行われており、平成14年に廣州市と登別市は『友好交流促進都市』の盟約を調印。10年目の節目を迎えた平成24年には、廣州市から、協力交流研修員を招き、約6カ月間、市役所での研修をしながら、中国語講座や中華料理講座などで市民の皆さんとの交流も図り、また、より幅広い交流を促進するため、両市間で『友好都市協定』を締結し、継続的な交流を図っています。

平成29年度は、ブラジル連邦共和国の日本人学校で校長を務めた経験をもつ登別小学校校長の片倉徳生さんや日本工学院北海道専門学校に通う大韓民国出身の丁東鉉さんのほか、室蘭工業大学の留学生やALTなどが講師となり、日本と異なる文化や習慣などについて、講話をしていただきました。気軽に参加できる国際交流の場として、今後も開催しますの